

令和3年度事業計画書

横浜市泉区民文化センター

指定管理者 神奈川共立・相鉄企業共同事業体

令和3年度 横浜市泉区民文化センター 年間事業計画書

令和3年4月1日

1. 施設運営

指定管理者第3期の6年目は、過去15年間の施設運営実績を基盤に、新型コロナウイルスの影響を受けた中でありつつも、地域における文化的な繋がり(文化的コモンズ)の形成に寄与すべく、様々な区民の皆様に安心して利用できる施設運営を行って参ります。

地域の文化交流拠点としての機能の充実を図り、区民の皆様のニーズに応えるよう対応して参ります。

区民文化センターに求められてきた従来の役割(文化活動のための場所の提供、文化芸術に触れる機会の提供、地域人材の育成、文化団体への支援)は基より、誰もが地域社会の一員として参画できる文化活動拠点であるよう、来館者や施設利用者の方々のご意見・ご要望を施設運営に反映させ、区民の方々の意思に則した施設運営と地域文化の振興に努力します。

職員の能力とスキルを研修会や教育指導などを通じて高め、お客様が気持ちよくご利用いただけるように「安全と安心」が担保されるための取組みを継続して行います。各種職員研修の他にも、職員個人レベルでのスキル向上を指導徹底し、お客様に還元します。

「横浜市個人情報保護条例」に基づき、個人情報の取扱いに充分注意した施設運営を行います。また、「神奈川県公共的施設における受動喫煙防止条例」に基づき、施設内全館禁煙を継続して実施します。

これまでと同様に、年末休業、年始休業を除く休館日(保守点検日)の設定を毎月第3火曜日のみとし、お客様の施設利用可能日数を最大限確保した施設運営を行います。

2. 人員配置と勤務体制

館長	1名	8:45～16:45
責任者(事務・事業・舞台)	3名	14:00～22:00 の2交代制
職員(舞台スタッフ含む)	8名	(休日は月平均約10日)
カルチャースタッフ	4名	8:45～16:45 16:30～21:30 の2交代制

3. 施設管理

衛生面での対応を重点的に行います。また、施設設備等の不具合には的確に対応を施しご利用される方々の、利便性を第一に考えた施設管理と設備修繕及び機器の更新を行います。

指定管理者としてできる対応を迅速に行うことで、より良い創造環境の提供を継続します。

光熱水費(電気、ガス、水道)・事務費等の経費削減のための取り組みを継続して行い、市の財政負担を少しでも軽減できるよう努力します。館内が来館者や利用者の方々にとつ居心地のいい場所であるために細かな気配りを職員全員で心がけます。

施設内各種設備や舞台設備(機構・照明・音響)等の管理業務を適切に行い、故障や不具合の際には定期保守点検報告書の指摘に基づいた対応と中長期的視野に立った施設維持を行います。

また、共同事業体が保有する文化施設運営の経験値を最大限に活用し、機能的な管理体制とシステムによる施設管理業務の遂行を継続します。

4. 文化事業

・鑑賞事業

- ① イッツ・フォンテ・シリーズ
(フォンテ・ミュージカル、ふおんて寄席、他) <演劇・古典芸能・音楽鑑賞事業>
- ② ミーツ・オーサム・シリーズ
(ライブパフォーマンス、他) <幅広いジャンルの鑑賞事業>
- ③ ウィズ・ミュージズ・シリーズ
(ホールコンサート・朗読、他) <定期的な音楽鑑賞事業>

・活動支援事業

- ① 神奈川県私立中学校演劇発表会 <共催事業>
- ② 横浜市高等学校演劇発表会(中央大会) <共催事業>
- ③ 神奈川県湘南地区高等学校演劇発表会 <共催事業>
- ④ 泉区美術会絵画展 <共催事業>
- ⑤ 泉区民文化祭 <共催事業>
- ⑥ 泉区映画祭 <共催事業>
- ⑦ 舞台音楽研究会(オペラ) <共催事業>
- ⑧ 文化芸術活動や施設利用に関する相談・助言 <共催事業>
- ⑨ 活動への広報協力 <広報渉外事業>

・区や施設の特性を活かした事業

- ① ふおんて寄席(落語・漫才)

・普及事業

- ①オペラワークショップ（オペラワークショップ）
- ②ことば塾（朗読ワークショップ）
- ③いずみ紙芝居一座口演会

・次世代育成事業

- ①ベート・ヴェン ピアノ国際コンクール アジア への協力
- ②フォンテサポーターズ事業
- ③横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム

・調査研究事業

- ① プラットフォーム構築事業
- ② コーディネーター育成事業

・地域活性化事業

- ①映像配信講座
- ②SNS活用講座

・広報・プロモーション活動・情報提供事業

- ① 広報渉外事業（紙媒体・新聞・駅への配架等）
- ② ホームページ運営事業（SNSを含むPR）
- ③ 施設広報紙（FONTE PRESS・他）運営事業
- ④ テアトルフォンテサポーターズ（友の会事業）の運営事業

※新型コロナウイルスの影響により、事業が中止や配信での公開に変更となる場合があります。

※新型コロナウイルスの影響により、自主事業を縮小方向で計画をしています。

以上

令和3年度収支予算書

横浜市泉区民文化センター

指定管理者 神奈川共立・相鉄企業共同事業体

令和3年度収支予算書（横浜市泉区民文化センター）

(単位:円)

【収入】

科目	金額	内 訳
指定管理料	105,224,000	
利用料金収入	10,480,600	施設利用料・附帯設備利用料
自主事業収入	6,843,220	チケット収入・参加費収入等
その他収入	414,000	コピー機使用料・自動販売機売上金、助成金、他
合計	122,961,820	

【支出】

科目	金額	内 訳
人件費	55,202,400	館長、受付事務責任者、自主事業責任者、舞台管理責任者、職員、カルチャースタッフ、臨時スタッフ
事務費	5,251,800	賃借料、旅費交通費、通信運搬費、消耗品費、什器備品購入費、印刷製本費、研修・諸会費、手数料、保険料、雑費、公租公課
自主事業費	7,885,220	文化事業費
管理費	27,312,400	修繕費、設備管理費、舞台設備・その他保守
光熱水費	14,410,000	電気料金・ガス料金・水道料金
公益費	11,700,000	管理組合負担金
事務経費	1,200,000	本部管理運営費
合計	122,961,820	